

[I] (1) f (2) a (3) d (4) g (5) d (6) f (7) g (8) d (9) h (10) c

〔解答のポイント〕

- (3) 状態方程式を使って ΔT を $\Delta(pV)$ に書き換えると温度をその都度求める必要がなくなり，見通しがよくなる。
- (4) 定圧モル比熱 $C_v + R$ が利用できると楽。
- (6) 断熱過程なので，出入りする熱は 0 である。
- (8) 熱効率の定義が与えられているが，これをそのまま使うよりも 1 サイクルに熱力学の第一法則を適用して得られる

$$W = Q_{\text{in}} - Q_{\text{out}} \quad (W \text{ は 1 サイクルで外部にする仕事})$$

を使って

$$e = 1 - \frac{Q_{\text{out}}}{Q_{\text{in}}}$$

とした方がよい。 Q_{in} は(4)で考えた Q であり， Q_{out} は(7)で求めている。

- (9) 与えられたポアソンの式より

$$p_0 (Sh_1)^\gamma = \alpha p_0 (Sh_2)^\gamma \quad \therefore h_1 = \alpha^{\frac{1}{\gamma}} h_2 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

$$\alpha p_0 (Sh_3)^\gamma = p_0 (Sh_4)^\gamma \quad \therefore h_4 = \alpha^{\frac{1}{\gamma}} h_3 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

となるので，これを(8)に代入して解答を得る。

- (10) h の最大値は h_4 なので， $h_4 < H$ が求める条件である。 h_4 は(9)の①，②式と(4)の結果を用いて h_1 と Q を用いて表せる。

〔Ⅱ〕 問1 $z_0 = -\frac{mg}{k}$ 問2 $-kx$ 問3 $z = 0$ 問4 $\sqrt{2gh}$ 問5 $L = \sqrt{\frac{2mgh}{k}}$

問6 $x = -\ell + h - \frac{k\ell^2}{2mg}$ 問7 $h = -\frac{81\pi^4}{1024}z_0$ 問8 $-g - \frac{kz}{2m}$ 問9 $-\frac{1}{2}kz$

問10 $-3z_0$

(解答のポイント)

問6 小球2の2回目の衝突直前の速度を v_1 とすると、単振動のエネルギーを考慮した力学的エネルギー保存より

$$\frac{1}{2}m(\sqrt{2gh})^2 = \frac{1}{2}mv_1^2 + \frac{1}{2}k\ell^2$$

また、衝突後は速度交換が起こり小球1が初速度 v_1 で上昇するから、衝突点からの上昇距離を h' として、

$$0 - v_1^2 = 2(-g)h'$$

以上の2式より、小球1が最高点に達したときの x は

$$x = -\ell + h' = -\ell + h - \frac{k\ell^2}{2mg}$$

問7 $l = \frac{1}{\sqrt{2}}L$ より参考円を考えると、小球2は単振動の周期の $\frac{3}{8}T$ で衝突したことがわかる。1回目の衝突が起きてから2回目に衝突するまでの時間を t として、

$$\begin{cases} \frac{1}{\sqrt{2}}L = \frac{1}{2}gt^2 \\ t = \frac{3}{8} \cdot 2\pi\sqrt{\frac{m}{k}} \end{cases}$$

また、問1、問5より

$$\frac{mg}{k} = -z_0, L = \sqrt{-2z_0h}$$

であるので、以上より

$$h = -\frac{81\pi^4}{1024}z_0$$

問10 運動量保存より、衝突後の2物体の速さを u として

$$m\sqrt{2gh} = 2mu$$

$z = 0$ で運動エネルギーが0であるとしてその際の h を求めればよい。衝突後、振動中心の座標が $2z_0$ になることに注意して、単振動のエネルギーを考慮した力学的エネルギー保存より、

$$\begin{aligned} \frac{1}{2} \cdot 2mu^2 + \frac{1}{2}k|z_0|^2 &= \frac{1}{2}k(2|z_0|)^2 \\ \therefore h &= -3z_0 \end{aligned}$$

〔Ⅲ〕 問1 $\frac{Q}{\varepsilon_0 ab}$ 問2 $\alpha = \frac{Qq}{\varepsilon_0 abm}$ 問3 $\sqrt{(v \cos i)^2 + 2\alpha d}$ 問4 $n = \sqrt{1 + \frac{2\alpha d}{v^2}}$
 問5 $C_1 : \frac{V}{3}, C_2 : \frac{V}{3}$ 問6 $C_1 : \frac{\varepsilon_0 abV}{3d}, C_2 : \frac{2\varepsilon_0 abV}{3d}$ 問7 $x = (3 - \sqrt{3})d$
 問8 $\ell = \frac{a}{\varepsilon_r - 1}$ 問9 $\frac{v_1}{v_2} = 2$ 問10 $\frac{(\varepsilon_r - 1)\varepsilon_0 b v_1 V}{3d}$

〔解答のポイント〕

問4 下の極板を出るときの速さを v_1 とすると, x 方向は等速運動であること, および仕事とエネルギーの関係より

$$\begin{cases} n = \frac{\sin i}{\sin r} = \frac{v_1}{v} \\ \frac{1}{2} m v_1^2 = \frac{1}{2} m v^2 + m \alpha d \end{cases} \quad \therefore n = \sqrt{1 + \frac{2\alpha d}{v^2}}$$

問5・問6 C_1 の電気容量を $C \left(= \frac{\varepsilon_0 ab}{d} \right)$, C_1, C_2 の電位差を V_1, V_2 (並列のため, $V_1 = V_2$) とすると, 電荷保存より

$$CV_1 + 2CV_2 = CV \quad \therefore V_1 = V_2 = \frac{V}{3}$$

$$Q_1 = CV_1 = \frac{\varepsilon_0 abV}{3d}, \quad Q_2 = 2CV_2 = \frac{2\varepsilon_0 abV}{3d}$$

問7 題意より, $v = 2\sqrt{\frac{qV}{3m}}$ であるから

$$\alpha = \frac{qQ_1}{\varepsilon_0 mab} = \frac{v^2}{4d}$$

運動時間 t_0 は問3の結果を用いて

$$t_0 = \frac{4d}{v^2} \left(-v \cos \frac{\pi}{3} + \sqrt{(v \cos \frac{\pi}{3})^2 + \frac{v^2}{2}} \right) = \frac{2d}{v} (\sqrt{3} - 1)$$

よって, 求める x 座標は

$$x = v \sin \frac{\pi}{3} \cdot t_0 = (3 - \sqrt{3})d$$

問8 C_1 の電気量は $Q_1 \left(= \frac{1}{3} CV \right)$ のままで, かかる電圧は $\frac{V}{3}$ であるから, C_2 の電気量に着目して

$$2C \left(\frac{a - \ell}{a} + \frac{\varepsilon_r \ell}{a} \right) \cdot \frac{V}{3} = \frac{4}{3} CV$$

$$\therefore \ell = \frac{a}{\varepsilon_r - 1}$$

問9 題意より

$$C_1(t) = \left\{ 1 + (\varepsilon_r - 1) \frac{v_1 t}{a} \right\} C$$

$$C_2(t) = \left\{ 1 + (\varepsilon_r - 1) \frac{\ell - v_2 t}{a} \right\} \cdot 2C = 2 \left\{ 2 - (\varepsilon_r - 1) \frac{v_2 t}{a} \right\} C$$

であるから, $V_1(t) = V_2(t)$ より

$$\left\{ 1 + (\varepsilon_r - 1) \frac{v_1 t}{a} \right\} C \cdot V_1(t) = \frac{1}{3} CV + It$$

$$2 \left\{ 2 - (\varepsilon_r - 1) \frac{v_2 t}{a} \right\} C \cdot V_1(t) = \frac{4}{3} CV - It$$

2式が恒等式となるのは $V_1(t)$ が一定のときで, $V_1(t) = V_1(0) = \frac{V}{3}$. 係数比較して,

$$v_1 = 2v_2 \quad \therefore \frac{v_1}{v_2} = 2$$

問10 問9より

$$I = (\varepsilon_r - 1) \cdot \frac{v_1}{a} \cdot C \cdot \frac{V}{3} = \frac{\varepsilon_0 (\varepsilon_r - 1) b v_1 V}{\underbrace{3d}}$$